

「カーボンニュートラル宣言」と温室効果ガス削減目標について

京都を中心に、総合食品スーパー「フレスコ」を運営する株式会社ハートフレンド(以下、当社)は、日本政府が目指す 2050 年カーボンニュートラルに賛同し、2025 年 10 月 1 日(水)、「カーボンニュートラル宣言」と、温室効果ガス削減目標を策定致しました。

当社では、2025 年度より、脱炭素社会と持続可能な社会の実現に向け、イノベーションを追求した事業活動を通じ、温室効果ガスの排出を 2050 年度には排出を実質ゼロ（ネットゼロ）とし、カーボンニュートラルの達成することを目標とします。

記

1. 宣言趣旨

株式会社ハートフレンド（スーパーフレスコ）は、地域社会と共に歩むスーパーマーケットとして、持続可能な社会の実現に貢献することを経営の重要課題と位置付けています。当社は、冷凍冷蔵設備をはじめとするエネルギー消費量の多い業態であることを踏まえ、温室効果ガス排出削減を進めることが、環境責任を果たすだけでなく、経営リスク低減・コスト効率化・ブランド価値向上につながると認識しています。

2. 排出範囲と基準年

対象範囲：Scope 1（燃料等直接排出）、Scope 2（購入電力由来の間接排出）

基準年：2025 年度

3. 長期目標

2050 年までに Scope 1 + 2 の排出を実質ゼロ（ネットゼロ）とし、カーボンニュートラルを達成します。

4. 中期目標

当社は、以下の削減目標を掲げます。

年度	削減目標 (Scope 1+2、基準年比)
2030 年度	30～40%削減
2035 年度	約 50%削減

5. Scope 3 について

現時点では、Scope 3 の算定・公表は上場企業等に優先的に求められています。

当社は非上場企業であり、Scope 1 + 2 の削減を最優先に取り組めますが、物流効率化・調達先との協働等を通じて主要なカテゴリーにおける排出削減の検討を進めます。将来的には Scope 3 の削減目標設定についても段階的に検討します。

6. 実施・モニタリング体制

- 推進体制： 2025 年 9 月に新設した「GX 推進室」を中心に、全社的な脱炭素施策を統括。
- 年次報告： 毎年度の温室効果ガス排出実績と進捗を社内外に公表。
- 見直し： 技術進展や政策動向を踏まえ、目標・施策を定期的にレビュー。
- オフセット利用： 自社削減努力を優先しつつ、必要に応じて信頼性あるカーボンクレジットを活用。

7. 宣言文

当社は 2050 年までに Scope 1 + 2 排出を実質ゼロとし、カーボンニュートラルを達成します。中間目標として、2030 年度までに基準年比 30～40%削減、2035 年度までに約 50%削減を目指します。持続可能な社会の実現に向け、全社員・全店舗が一体となって取り組みます。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



【会社概要】

会社概要

会社名 | 株式会社ハートフレンド (Heart Friend Co.,Ltd.)

役員 | 代表取締役社長 井上 壮一

専務取締役 山田 真司

常務取締役 中野 周策

取締役 宮嶋 龍生

監査役 木田 稔

従業員 | 約 4,200 名 (社員・パートタイム)

業 界 | 総合食品スーパー

年 商 | 603 億円 (連結) 【2025 年 2 月期】
社>

本 社 | 〒600-8311

京都市下京区若宮通五条下ル毘沙門町 33 番地 1

TEL 075-468-9171 FAX 075-468-9172



<株式会社ハートフレンド 本

食を通じてともに笑顔に。

私たちは食を通じて、お客様を笑顔にし、
働く仲間を笑顔にし、社会を笑顔にします。



以上

株式会社ハートフレンド

〒600-8311 京都市下京区若宮通五条下ル毘沙門町 33 番地 1

TEL : 075-468-9171 FAX : 075-468-9172 問い合わせ先 : 広報室 kouhou@super-fresco.co.jp